



福井県若狭町

観光資源を活かしたまちづくり

福井県若狭町

平成17年3月に
三方町、上中町が合併し誕生

人口 12,975人
(令和8年6月1日現在 住民基本台帳)

世帯 4,916世帯

面積 178.65 km²



大阪、名古屋から 車で約2時間
京都から 車で約1時間半
東京から新幹線等で3時間半～4時間



世界にここだけ ～若狭町～

海



川



山



湖



若狭町の観光資源

三方五湖

三方湖、水月湖、菅湖、久々子湖、日向湖の5つの湖の総称
国際的に重要な湿地を保全するラムサール条約に登録されている



レインボーライン山頂公園

平成30年～令和4年にかけて大規模リニューアル
三方五湖や日本海の絶景を堪能できる



若狭町の観光資源

鯖街道 熊川宿 若狭と京都との交易の拠点として発展した宿場町



平成 8年：重要伝統的建造物群保存地区 選定
平成27年：日本遺産 認定
令和 6年：日本遺産プレミアム 認定

情緒あふれる街道沿いには、奉行所・番所・蔵屋敷の跡が残り、昔ながらの用水路が流れている。



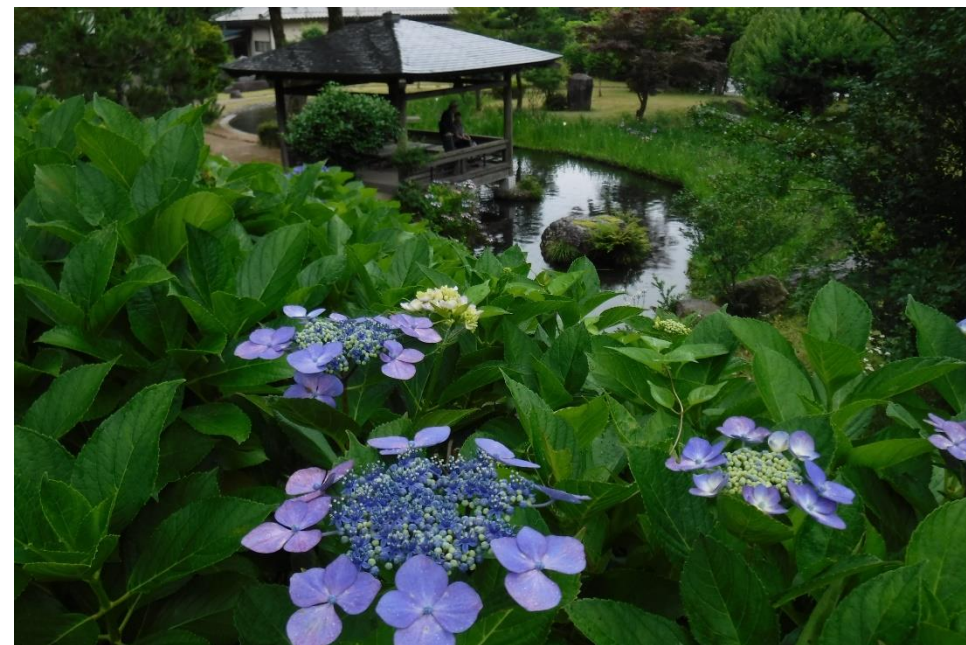
若狭町の観光資源

瓜割の滝

1年を通して水温が変わらず、夏でも水につけておいた瓜が割れるほど冷たいことから名前が付けられた



昭和60年 観光庁「名水百選」 選定
平成 8年 国土交通省「水の郷」 認定
平成18年 福井県「ふくいのおいしい水」 認定



若狭町の観光資源

福井県年縞博物館

年縞（ねんこう）とは…湖底に積もった地層

三方五湖のひとつ「水月湖」から採掘
世界一の長さを誇る45m、約7万年分
世界標準のものさし



若狭町の観光資源

漁師の宿

日本で一番漁師が営む民宿が多いとされる町。若狭は、古来より「海の国」と呼ばれてきました。海が地域の歴史そのものを形づくってきた土地です。現代の若狭に点在する「漁師の宿」は、単なる観光の宿ではありません。800年を超える漁村の歴史、食文化、そして日本とアジアをつないだ“海の道”の記憶が息づいています。



若狭町の観光資源

アクティビティ

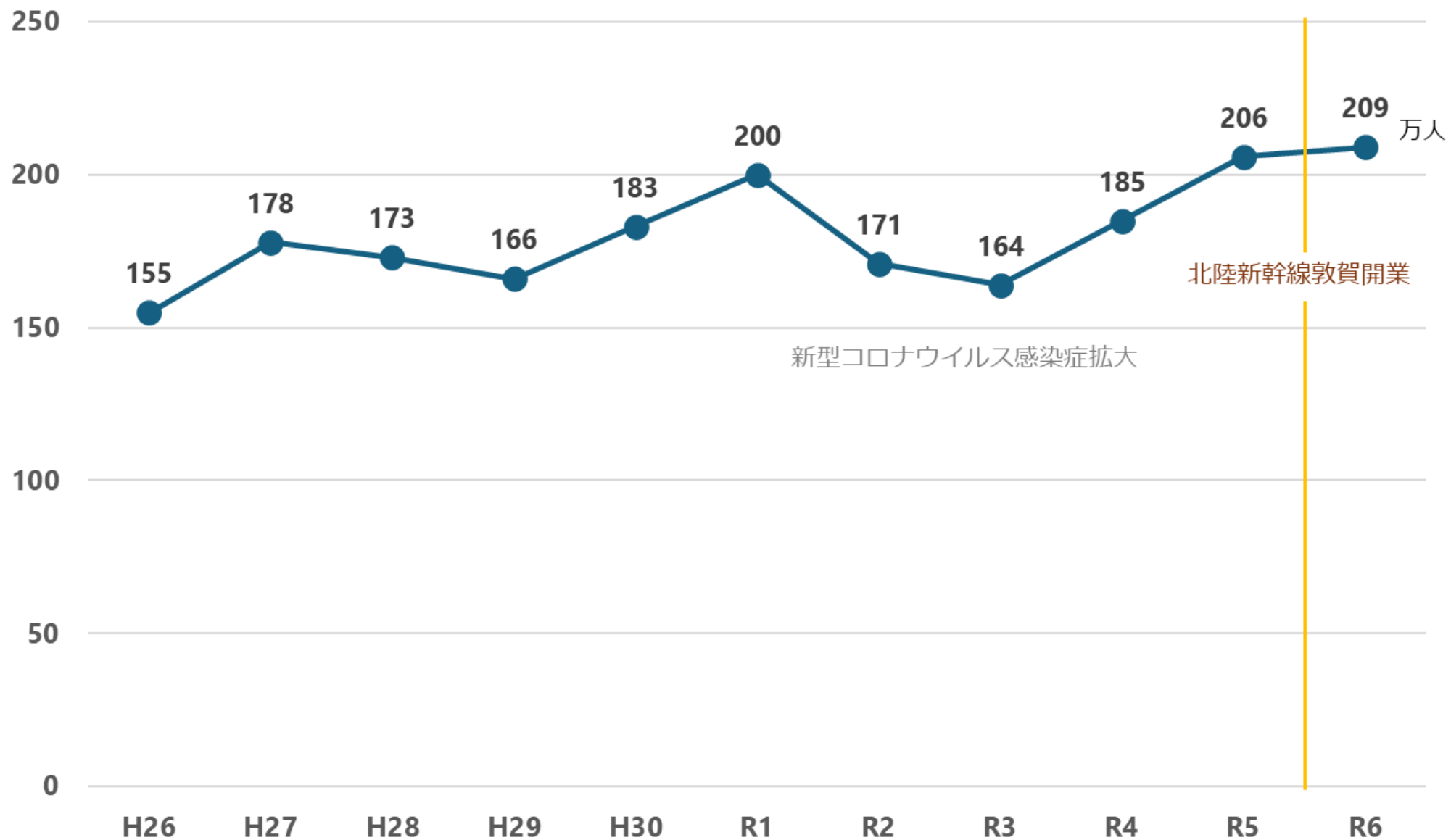
空き家を活用した「八百熊川」や星空満天のキャンプ場「山座熊川」など新しい宿泊施設も続々オープン♪



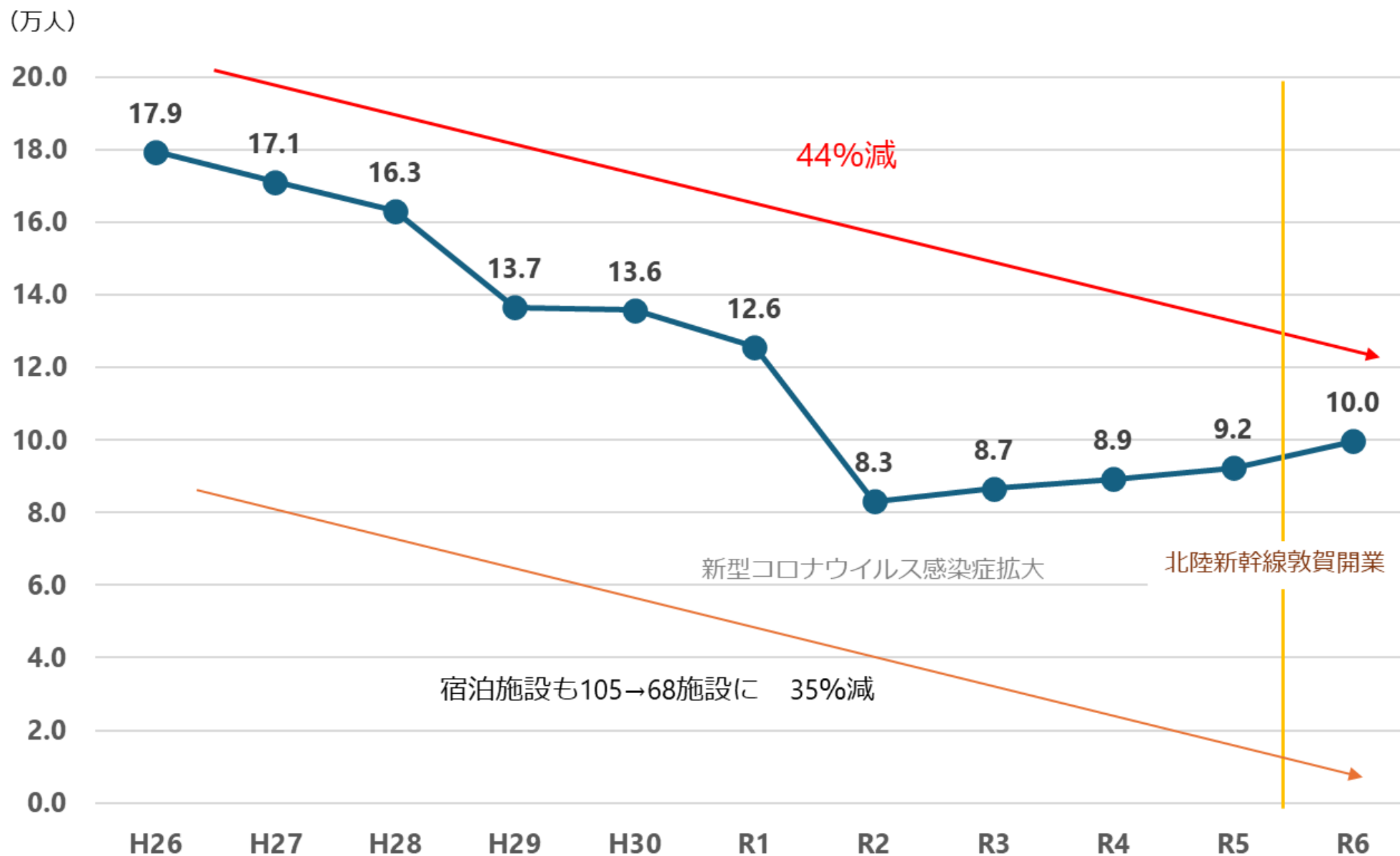
若狭町の特産品



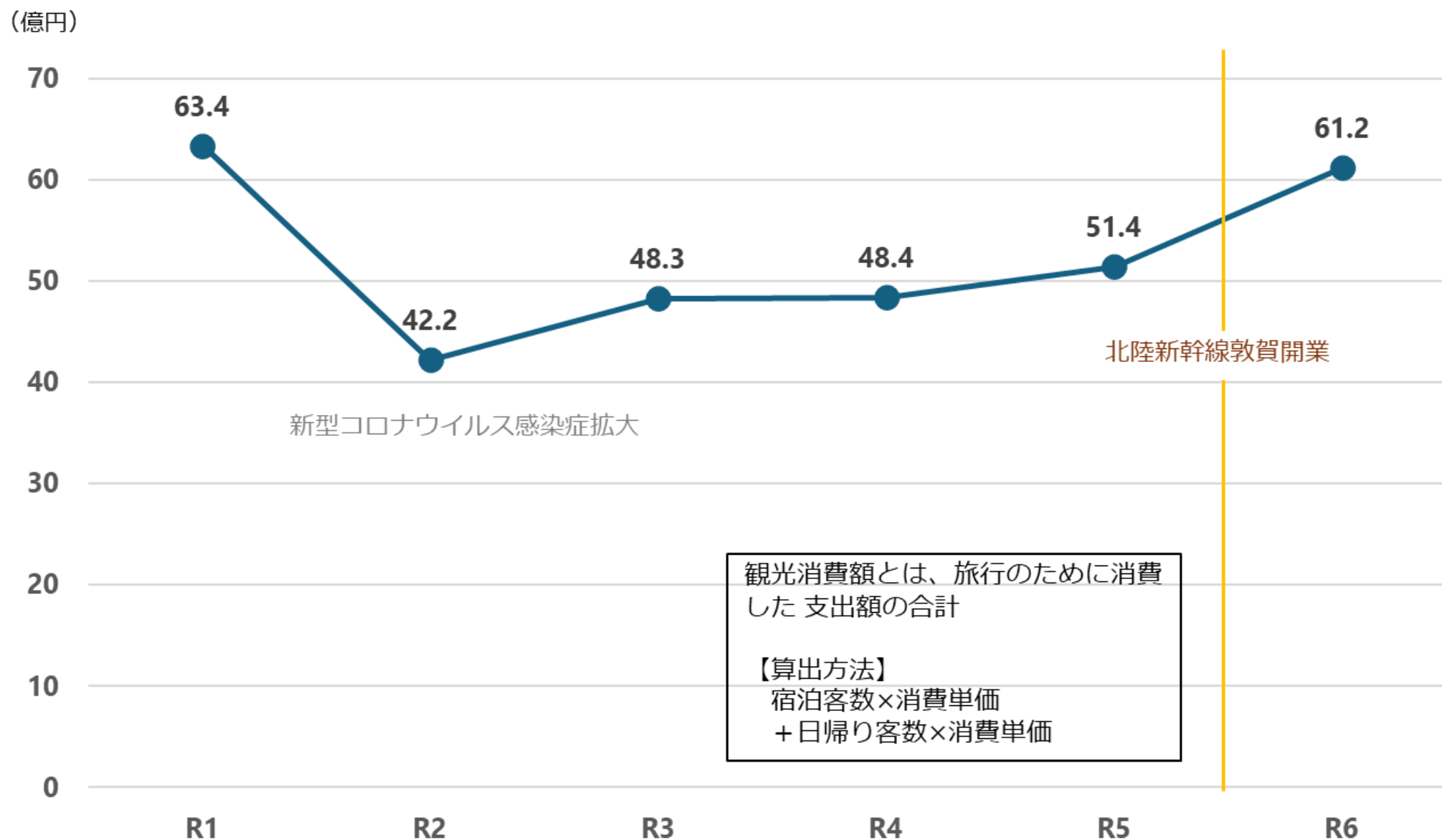
若狭町の観光 ～現状・課題～ 観光入込客数



若狭町の観光 ～現状・課題～ 宿泊者数



若狭町の観光 ～現状・課題～ 観光消費額



若狭町の観光 ～現状・課題～

●担い手不足

宿泊事業者や飲食店などで、今後高齢化、後継者不足により観光事業者が減少することが予想される。担い手不足を課題を解決し、地域資源を守りながら持続可能な観光の町を目指していく必要がある。

●二次交通

北陸新幹線敦賀延伸により関東方面からの一次交通敦賀までのアクセスは向上。しかし、駅から各観光地への移動手段が乏しい。

●プロモーションと情報発信

現在の情報収集の主流はSNS。今後YouTubeやInstagramを有効活用し幅広い世代を呼び込む必要がある。地域の魅力、そして正しい情報を発信して、誘客につなげたい。

●インバウンド対応

多言語に対応した情報発信や案内版の作成、スタッフの育成が必要。また文化の違い等もあるため、文化やマナーに関する情報も伝えていく。

重点プロジェクト

①インバウンドの誘客強化

長期滞在や高消費が見込める欧米豪市場をターゲットとし、本町の強みである歴史・文化・自然を活かした高付加価値な体験コンテンツを造成・発信します。多言語対応や決済環境といった受入態勢の整備も官民一体で推進し、国際的に選ばれる観光地を目指す。

②認知度の向上

デジタルマーケティングを駆使してターゲットに響く情報を届けるとともに、メディア、ランドオペレーター、インフルエンサーとの関係を強化することで、国内外における若狭町の認知度を高める。

③観光消費の拡大・循環

来訪者の満足度を高め、一人当たりの観光消費額を向上させることで、その経済効果を地域全体へ循環させる「稼げる観光」を実現します。滞在を促進する魅力的な宿泊メニューや体験プログラム、土産物等を開発・強化し、地域内での消費機会を創出します。これにより、観光による収益が地域経済を潤し、次の魅力向上投資へとつながる持続可能な仕組みを構築する。

募集概要

募集内容	地域課題の解決や観光資源を活かした地域の活性化を加速させるため、地域おこし協力隊の新しい視点や専門性を取り入れた観光まちづくりを目指します。
任用形態	委託方式
活動内容	▼観光まちづくり支援 <ul style="list-style-type: none">・ 地域資源を活用したプロモーション活動・ 観光事業者や地域住民とのコミュニケーションづくり・ 地域課題の整理・ 観光誘客のための情報発信 など
活動日数	週5日（土日を含む場合あり）
活動時間	8：30～17：15
委託料	報酬 月額232,000円～（大卒初任給の場合） 活動費 年間2,000,000円以内 ※家賃、自動車リース料、車両燃料費の一部（上限設定あり） ※活動旅費、研修費等、隊員の活動に必要な経費
募集人数	若干名



募集概要

▼観光資源を活かしたまちづくりに興味を持ち、新たな取り組み意思のある方

- ・若狭町の自然・歴史・文化・産業など地域の観光資源を活用した仕事に興味がある方
- ・民宿を営む地域住民など関係者と積極的なコミュニケーションがとれる方
- ・協力隊終了後も町内において観光振興を中心に自活していく意思のある方

▼そのほかあると良いスキル・経験

- ・地域の活性化に向けた様々な取組みを提案し、実践できる方
- ・SNSなどのWEBを活用した情報発信に取り組める方
- ・インバウンドに対応するため、実用的なコミュニケーションがとれる方

取り組んでいただく活動内容(例)



▼若狭三方五湖観光協会との連携

- ・観光誘客イベントの企画提案
- ・新たな旅行商品やお土産品開発
- ・SNS情報発信 など

▼漁師民宿の活用

- ・地域OTA活用促進
- ・国内ファミリー、インバウンド情報発信
- ・インバウンド受け入れ体制の整備

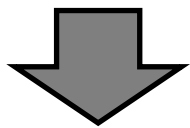


取り組んでいただく活動内容(例)

観光DX 各種データやデジタル技術を活用した観光客層の分析を行い、効果的な国内外の観光客誘致プロモーションを推進する。

若狭町における現状把握

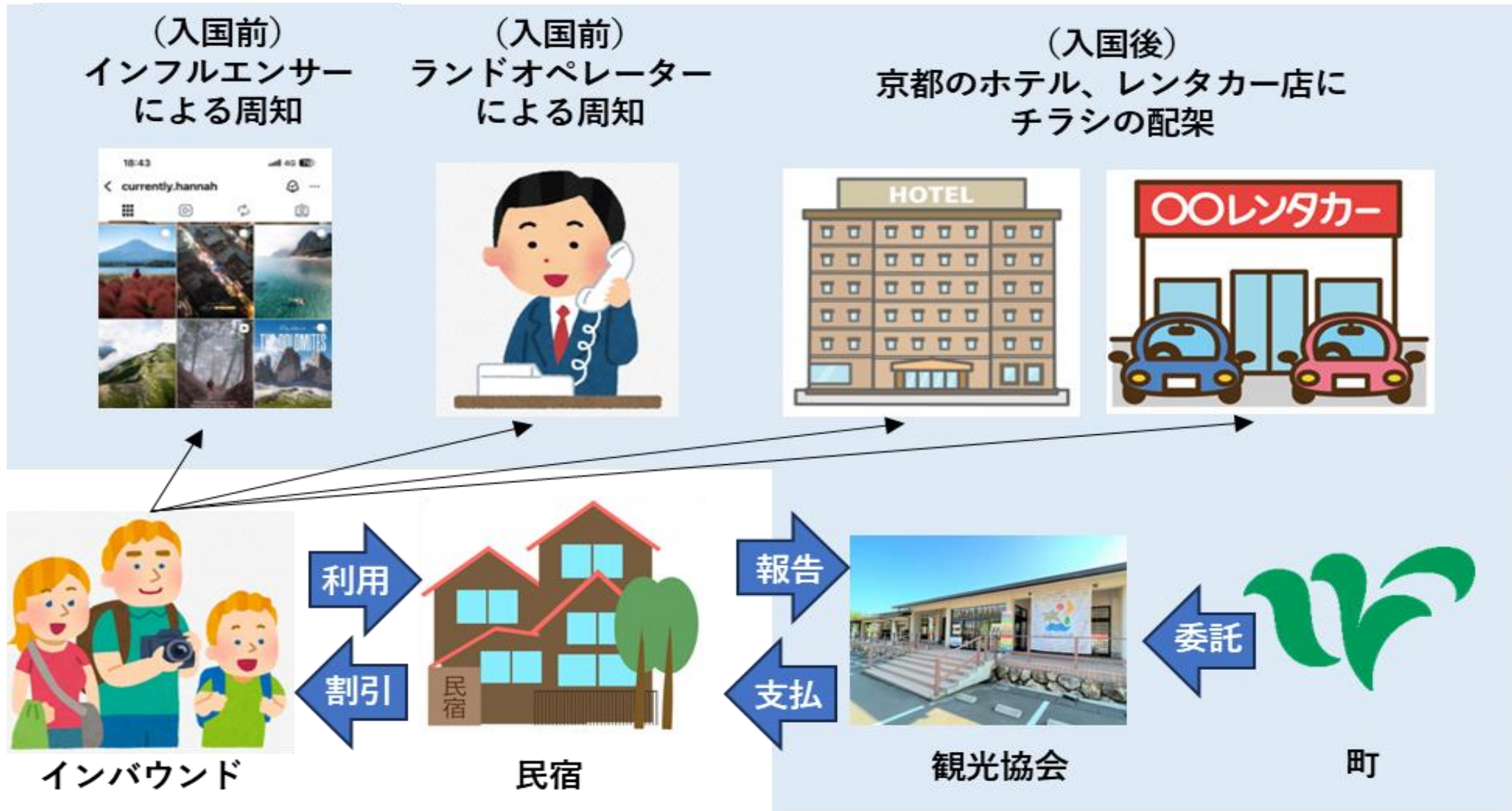
- ・ 人流分析
- ・ 属性調査 など



ターゲットの明確化
観光戦略の策定




取り組んでいただく活動内容(例)



自然・文化・歴史・食・人を活用して
新しい発想で若狭町のファンを増やそう！

サイクリング、キャンプ、ウェディング
トレイル、マリンスポーツ、漁業体験、
空き家対策など、さまざまな活動に・・・



A scenic sunset over the ocean. The sky is a mix of deep blue and orange, with scattered white and grey clouds. The sun is low on the horizon, creating a bright glow and reflecting on the water. In the foreground, two people are silhouetted in a kayak on the water. The overall mood is peaceful and hopeful.

みなさんの力で
若狭町を元気に！